

# 日銀メッセージの変化（2026年1月→3月→4月）

3文書の比較：タカ派/ハト派判定、利上げ確度、不透明要因、コアメッセージ

1月23日 総裁会見

据え置き

🐦 タカ派/ハト派

ややタカ派

↗ 利上げ確度

高寄りの中

⚠ 不透明要因

円安波及

💬 コアメッセージ

- 見通し実現なら利上げ
- 準備完了

3月19日 総裁会見

据え置き

🐦 タカ派/ハト派

中立～ややハト派

↗ 利上げ確度

中

⚠ 不透明要因

中東・原油

💬 コアメッセージ

- 中東情勢・原油価格を見極め
- 一時停止

4月13日 信託大会

正常化は継続？

🐦 タカ派/ハト派

ややハト派

↗ 利上げ確度

低寄りの中

⚠ 不透明要因

地政学リスク

💬 コアメッセージ

- 正常化方針は継続も「確度やリスクを点検」
- 様子見継続

💡 総括：中長期の正常化シナリオ（構造的なタカ派）は維持するも、早期の利上げ（4月27-28日会合）は見送りか

3月に慎重化したが、4月はややハト派方向。追加利上げに前向きな姿勢は維持するも、確度が無い状態の為、様子見姿勢は継続。

❗ ※25年12月会合前の名古屋講演では「利上げの是非を判断」と示唆したが、今回はノーシグナルの為、市場は「利上げ見送りの地ならし」と理解